

「電磁気学 1」

物理学科 田口 真

震災の影響で講義回数が 11 回となることに対応するため、授業計画を以下のように変更します。講義回数の減少分を補うため、以下の課題 1~3 をレポート用紙に解答し、第 1 回講義で提出すること。提出された課題レポートは休講となった 4 月中の講義 3 回分の出席点とします。

第 1 回	5 月 9 日	クーロンの法則：電場と電位 1 (1.1-1.3)
第 2 回	5 月 16 日	クーロンの法則：電場と電位 2 (1.4-1.6)
第 3 回	5 月 23 日	ガウスの法則(2.2-2.4)
第 4 回	5 月 30 日	静磁場の基本法則 1 (3.1, 3.3)
第 5 回	6 月 6 日	静磁場の基本法則 2 (3.4-3.5)
第 6 回	6 月 13 日	中間テスト
第 7 回	6 月 20 日	アンペールの法則(4.1-4.5)
第 8 回	6 月 27 日	ガウスの法則の微分形(5.1-5.3)
第 9 回	7 月 4 日	アンペールの法則の微分形(5.4-5.7)
第 10 回	7 月 11 日	ポワソン方程式(6.1-6.3)
第 11 回	7 月 18 日	ベクトルポテンシャル (6.4-6.6)

課題 1

① 教科書「電磁気学のききどころ」の以下の範囲を自習しなさい。

2.1 面積分・体積積分

3.2 静磁場の法則の考え方・外積

② 教科書の以下の章末問題を解答しなさい。

章末問題 1.4, 1.8, 2.1, 3.1, 3.2

課題 2 と課題 3 は後日 CHORUS に掲載します。